

「子ども司書」に参加する皆さんへ

1 「子ども司書」養成講座のポイント

- (1) 養成講座は、「基礎研修」、「実技・実地研修」、「視察研修」の3つがあります。
- (2) それぞれの講座には時間に応じて単位数が決まっています。講座に出席すると決められた単位を取得できます。
- (3) 講座に出席し、20単位以上を取得した後、レポートを提出し、定められた以上の成績を修めると「子ども司書」の修了証が授与されます。



2 講座の内容

基礎研修（8月）

※1 単位＝50分で、2日間で実施

研修テーマ	単位数	内 容
①本との出会いの楽しさ	1	本のすばらしさ、読書の大切さを学びます
②魅力的な図書館の展示やポップ作り	3	本の効果的な展示方法やコメントカード(ポップ)の書き方を学びます
③図書館の本はみんなの本	2	本の管理の仕方や修理方法の技術を学びます
④やってみよう！読み聞かせ	4	読み聞かせのための本の選び方や読み方を学びます
計	10	

実技・実地研修（9～11月）

※1単位＝3時間で、延べ3日間で実施(計6単位、18時間)
(午前の部は10時～12時、午後の部は1時～5時)

ア 9月～11月の土・日・祝日等を利用して延べ3日間の研修です。

イ 公立図書館や公民館図書室、学校図書館等で図書館司書の仕事について学びます。

ウ 研修内容は、

- ① 公立図書館にて司書業務研修4単位延べ2日(図書の検索、登録、貸し出しや返却)
- ② 学校図書館にて実技・実地研修2単位延べ1日(基礎研修の内容等)

視察研修（12月）

※1単位＝60分で、1日で実施

視察テーマ	単位数	内 容
⑤ 子どもの読書と図書館の役割	6	子どもの読書活動の推進に関する役割と、高知県立図書館の役割を学びます

子ども司書養成講座

3 レポートの内容

- (1) テーマ 「子ども司書の役割」
- (2) 自分の意見や考えを 1000 字程度にまとめて提出します。

